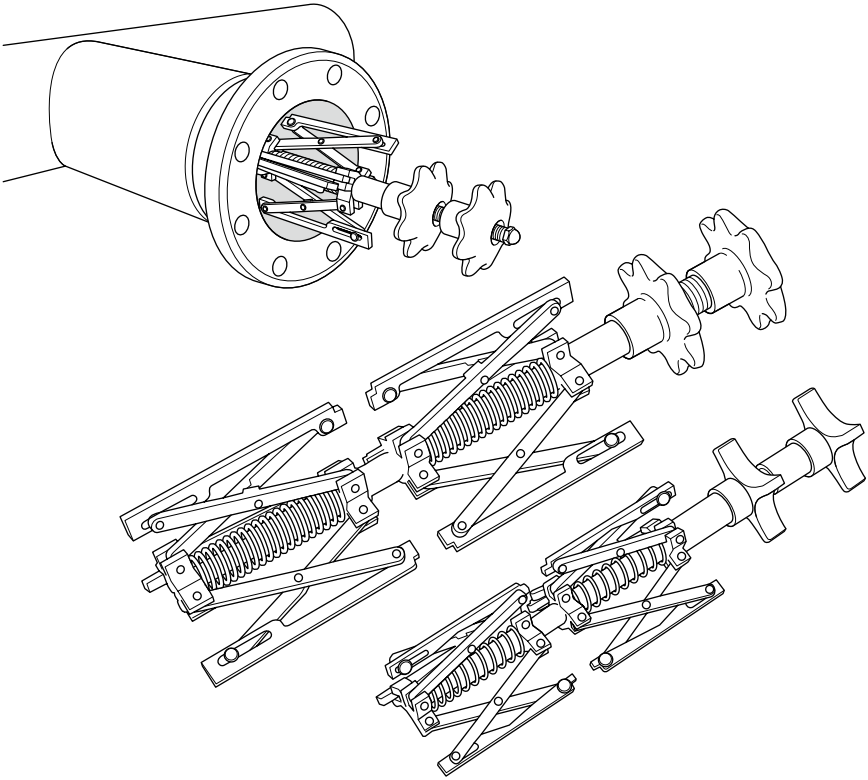
Asada
環境を守る親切ツール

溶接治具

インナークランプ

取扱説明書



【ご使用前に必ず本書をお読みください。】

IM1202

インナークランプ

安全にご使用いただくために

このたびは、インナークランプをお買い上げいただきましてありがとうございます。

- この取扱説明書は、お使いになる方に必ずお渡しください。
- ご使用前に必ず本書を最後までよく読み、確実に理解してください。
- 適切な取扱いで本機の性能を十分発揮させ、安全な作業をしてください。
- 本書は、お使いになる方がいつでも取り出せるところに大切に保管してください。
- 本機を用途以外の目的で使わないでください。
- 商品が届きましたら、ただちに次の項目を確認してください。
  - ご注文の商品の仕様と違いはないか。
  - 輸送中の事故等で破損，変形していないか。
  - 付属品等に不足はないか。

万一不具合が発見された場合は、至急お買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
（本書記載内容は、改良のため予告なしに変更することがあります。）

警告表示の分類

本書およびフロン回収装置に使用している警告表示は、次の３つのレベルに分類されます。

危険 本機に接触または接近する使用者・第三者等が、その取り扱いを誤ったりその状況を回避しない場合、死亡または重傷を招く差し迫った危険な状態。

警告 本機に接触または接近する使用者・第三者等が、その取り扱いを誤ったりその状況を回避しない場合、死亡または重傷を招く可能性がある危険な状態。

注意 本機に接触または接近する使用者・第三者等が、その取り扱いを誤ったりその状況を回避しない場合、軽症または中程度の傷害を招く可能性がある危険な状態。
または、本機に損傷をもたらす状態。

ガス注意

爆発

火炎

騒音

火傷

保護具着用

分解禁止

作業環境

その他

取扱説明書

目　次

安全上のご注意 2
本機特有の注意事項 3
製品の構成 4
　各部の名称 4
　仕様 4
使用方法 5
　突合せ溶接形フランジ 5
　管差し込み形フランジル 6
修理・サービスを依頼される前に 7

安全上のご注意

● ここでは、本機を使用するにあたり、一般的な注意事項を示します。
● 作業要所での詳しい注意事項は、この後の各章で記載しています。

⚠ 危険

◆可燃性の液体（ガソリン・シンナー等）や可燃性ガスのある場所では絶対に使用しないでください。
スイッチの開閉時や使用中に高温のスラグ・スパッタ・金属を発しますので、引火・爆発の恐れがあります。

⚠ 警告

◆溶接時のヒュームやガスを吸い込まないでください。
また顔に溶接ヒュームが直接当たらないようにしてください。
プラズマアークによる切断や溶接箇所から発生するヒュームおよびガスは危険である上、健康に害を及ぼすことがあります。
換気によりヒュームとガスをすべて取り除くことができない場合は、強制式エア供給マスクを使用してください。
ヒュームおよびガスの補集には、水または下向き通風切断テーブルなどの専用機器を使用してください。
塩化溶剤洗浄剤の蒸気からは、有毒ガスであるホスゲンが発生します。
これらの蒸気発生源は、すべて取り除いてください。

◆作業現場には可燃性・引火性物質（紙・おがくず・アルコール・石油等）を置かないでください。
取り除くことができないものには、防護措置をとってください。
また手元に消化器や水を入れたバケツ等を必ず準備してください。
◆引火性または爆発性蒸気は作業現場からすべて排気してください。
◆可燃物を収納してある容器は、切断・溶接しないでください。
◆火災の危険性がある場所で作業を行う際は、防火係を立たせてください。

◆作業時は、目を保護するために必ず溶接用ヘルメットあるいは手持ちの溶接面を着用してください。
◆サイドシールドを備えた安全メガネ、ゴーグル等の目の保護具を着用してください。
プラズマアーク光線は、目に入ると傷害を起こしたり、皮膚に当たると火傷を起こす場合があります。
プラズマアークによる溶接・切断は、非常に明るい紫外線と赤外線が発生します。
これらのアーク光線は、適切な保護措置を講じないと目を傷めたり皮膚に火傷を起こす危険があります。
溶接用ヘルメットおよび安全メガネのフィルターレンズ、クリアガラスが割れていたり、汚れている場合はすぐに交換してください。
◆作業場所にいるほかの作業者にアーク光線が直接当たらないようにしてください。
スクリーンあるいは遮光シールド等を使用してアーク光線を遮断してください。

◆必ず、溶接用手袋と適切な衣服を着用し、皮膚にはアーク光線およびスパッタが当たらないようにしてください。
常に乾いた絶縁手袋を使用してください。

インナークランプ

⚠ 警 告

◆大きな騒音から耳を保護するには、耳栓および、またはヒアリングプロテクトを着用してください。
作業場所の他の作業者に対しても耳栓等により騒音から耳を保護してください。
騒音は恒久的な難聴の原因になります。
プラズマアークによる施工では騒音が安全限界を超えることがあります。
恒久的な難聴にならないように、騒音に対する耳への保護を行ってください。

◆火傷を防止するために必ず耐熱手袋、耐熱エプロン等を装着してください。
使用中、使用直後は溶接、切断機等のトーチ部分は高熱になりますので直接手など触れないでください。

◆修理技術者以外の人は、絶対に分解しないでください。
また、改造は絶対にしないでください。
異常動作してケガをしたり、故障の原因となります。

◆作業関係者以外は、作業場所に近づけないでください。
特にお子様には十分にご注意ください。

◆雨中や本機に水がかかる場所では使用しないでください。

⚠ 注 意

◆ネクタイや袖口の開いた服、編手袋、ダブダブの衣服やネックレスなどの装身具は着用しないでください。

◆能力を超えた作業及び、指定以外の使用はしないでください。
ケガをしたり本機が破損する恐れがあります。

◆作業場所、作業台は常に整理整頓を心がけてください。
安全面だけでなく、作業の能力アップにもつながります。

◆不安定な場所や無理な姿勢で作業しないでください。
転倒してケガをする恐れがあります。

本機特有の注意事項

⚠ 警 告

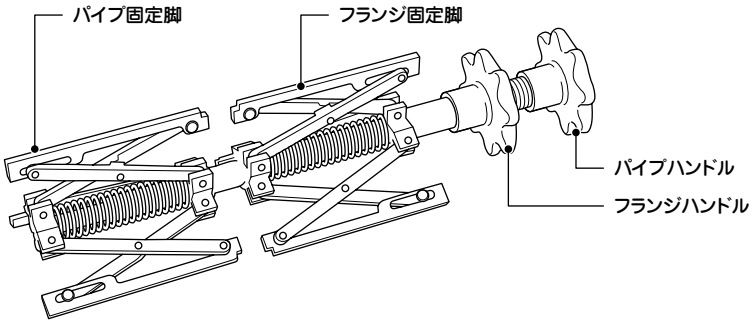
◆本機使用の前に、すべての部品をチェックして、不足した部品・痛んだ部品がないか、確認してください。
不具合があった場合は、直ちに使用を中止し、修理または交換してください。

◆本機は管固定芯出し治具です。
吊り上げ運搬には使用しないでください。

製品の構成

各部の名称

ラベルがはがれたり、汚れて見づらくなった場合には、弊社へご請求ください。
ラベルは必ず同じ場所に貼付してください。



仕　様

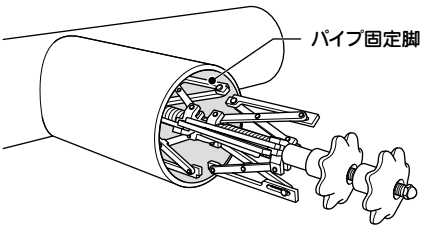
品　名	インナークランプ 2-4	インナークランプ 4-8	インナークランプ 8-12
コード No.	S784100	S784102	S784103
クランプ能力	φ 50 ～φ 100mm	φ 100 ～φ 200mm	φ 200 ～φ 300mm
大きさ（L x W x H）	325 x 44 x 43mm	455 x 85 x 72mm	665 x 154 x 145mm
質　量	1.0kg	3.8kg	13.2kg

インナークランプ

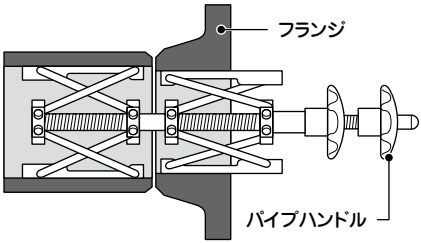
使用方法

突合せ溶接形フランジ

① パイプの中にインナークランプのパイプ固定脚側を入れます。



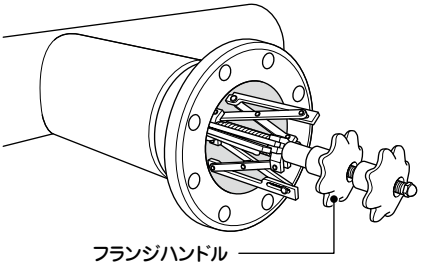
② パイプの端面にインナークランプのパイプ固定脚を5mm 程内側にずらして合わせます。
パイプハンドルを右に回してパイプにインナークランプをしっかり固定します。



③ インナークランプのフランジ固定脚にフランジを入れます。
フランジハンドルを右に回してフランジを軽く固定します。

④ フランジを移動してルート間隔を設定します。

⑤ フランジハンドルを右に回してフランジをしっかり固定します。
この時、パイプとフランジが整列されているか確認します。
整列されていない場合は、フランジハンドルを緩め、フランジハンドルを締め直します。



⚠ 注 意

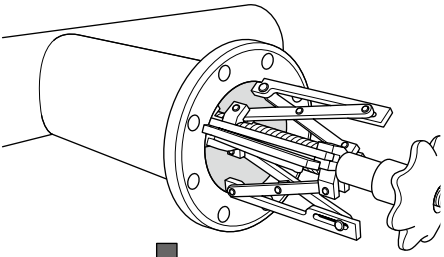
◆ パイプまたはフランジ移動する場合は、必ずパイプ受け台またはホイストを使用してください。
◆ インナークランプにパイプまたはフランジの全質量をかけないでください。必ずパイプ受け台、ホイストを使用して支えてください。
◆ 本機は管固定芯出し治具です。吊り上げ運搬には使用しないでください。

管差し込み形フランジ

① パイプの中にインナークランプのパイプ固定脚側を入れます。

② パイプの端面にインナークランプのパイプ固定脚を合わせます。

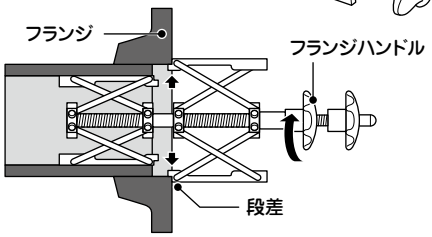
③ パイプハンドルを右に回してパイプにインナークランプをしっかり固定します。



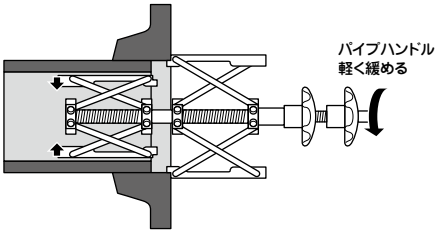
④ インナークランプのフランジ固定脚にフランジを入れます。

⑤ フランジ固定脚の端面にある段差にフランジを固定します。

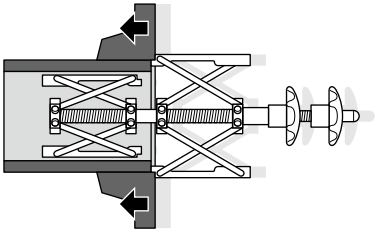
⑥ フランジハンドルを右に回してフランジを固定します。



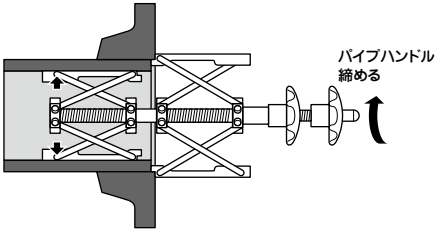
⑦ パイプハンドルを左に回して、パイプ固定脚を軽く緩めます。



⑧ フランジ固定脚の端面がパイプの端面に当たるまで、パイプに向かってインナークランプを奥に進めます。



⑨ フランジハンドルを右に回してフランジをしっかり固定します。
この時、パイプとフランジが整列されているか確認します。
整列されていない場合は、フランジハンドルを緩め、フランジハンドルを締め直します。



修理・サービスを依頼される前に

● 修理・サービスを依頼される前に下記の故障診断にしたがって点検してください。
それでも解決されない場合は、弊社またはお買い求めの販売店にご相談ください。

現　象	原　因	対　策
パイプとフランジが整列しない。	フランジの質量が本機にかかってをシャフトが変形している。	パイプ受け台、ホイストを使用してフランジを支える。
	フランジの扁平。	パイプとフランジが整列する位置にフランジの固定位置を回す。
	パイプの扁平。	パイプとフランジが整列する位置にフランジの固定位置を回す。
	本機の締付けによってパイプが変形している。	パイプを締めすぎない。
	パイプハンドルまたはフランジハンドルが緩んでいる。	ハンドルを締め直す。
	本機のセンターシャフトの変形。	部品の交換。
	脚と接続部が擦り減っている。	部品の交換。

Asada
アサダ株式会社

本　　社／名古屋市北区上飯田西町 3-60
TEL(052)911-7165　E-mail:sales@asada.co.jp

支　　店／東京・名古屋・大阪
営　業　所／札幌・仙台・さいたま・横浜・広島・福岡

海外事業所
アサダ・タイランド社　（バ ン コ ク）
台湾浅田股份有限公司　（台　　北）
アサダ・アーロンコ マシナリー社　（クアラルンプール）
アサダ・ベトナム社　（ホーチミン）
上海浅田進出口有限公司　（上　　海）
アサダトレーディング USA　（オレゴン州・ユージン）

工　場
犬山工場　（愛知県・犬山市）
第一精工株式会社　（松 阪 市）
アサダ・マシナリー社　（バンコク）

お客様相談センター　0120-114510（イイシゴト）
〈受付時間〉AM9:00～12:00　PM13:00～17:00（土・日・祝日は除く）

www.asada.co.jp

コード No. S7008　PRINT No. 120300A